

2月 図書館だより 2月号

渋谷区立代々木中学校
学校長 山本 茂浩
学校図書館専門員
衛藤直子 梶原麻理



本でめぐるお菓子の世界。



2月は町にお菓子があふれる季節。世界中のお菓子を知ることができる本や、印象的なお菓子が出てくる物語、日本の和菓子の本など、「お菓子と本」をテーマに本を紹介します。読むもよし、味を想像するもよし、作ってみるもよし。今月は、美味しい世界へあなたを誘います。

新しい本、到着しました！

新しい図書が入荷しています。皆さんのリクエストを中心にしたラインナップです。ぜひ図書館に来て、お気に入りの一冊を見つけてください♪



『おうちで作れる世界のおやつ』 (分類:596)

本山尚義/著 廣済堂/出版



バックパックを背負って世界を旅した著者が、201の国と地域のおやつを紹介。どれも地元で親しまれる普段着の味ばかり。日本で入手しやすい材料で作れるようレシピも工夫されています。各地の食文化がわかるミニ解説も楽しい。

今月の展示予定

- 本でめぐるお菓子の世界
- 新入荷本コーナー
- 三島由紀夫の文学

3年生の貸出について

3年生への図書貸出は2月14日(金)までとなります。卒業前に必ず返却してくださいね。

『チョコレート・アンダーグラウンド』 (分類:933)

アレックス・シアラー/著 金原瑞人/訳 求竜堂/出版



健全健康党がチョコレート禁止法を発令。そんなおかしな法律に疑問を抱いた、チョコレート大好き少年のハントリーとスマッジャーは、チョコレートを密造した。みんなに自由と正義とチョコレートを！



『あん』 (分類:913)ドリアン助川/著 ポプラ社/出版

千太郎のどら焼き店のバイト求人を見てやってきたのは、70歳を過ぎた手の不自由な女性・吉井徳江だった。徳江のつくる「あん」のうまさに舌をまく千太郎は彼女を雇い、店は繁盛しはじめるのだが…。



・三島由紀夫 生誕100周年・

三島由紀夫は1925年(大正14年)に東京に生まれました。祖母の影響で幼少期から歌舞伎や文学に親しみ育ちました。自身の少年時代から23歳に至るまでの時期を自伝的に書いた『仮面の告白』をはじめ、『潮騒』や『金閣寺』など多くの傑作を生み出しました。文体や内容から難解な印象を持つ人もいかもしれませんが、小さな島で惹かれ合う若い男女の恋愛を描いた『潮騒』は、爽やかな青春小説として読むことができ、三島由紀夫作品を初めて読む人にもおすすめです。参考:三島由紀夫文学館 HP

『潮騒』 分類:913 三島由紀夫/著 新潮社



古代の伝説が息づく伊勢湾の小島で、遅く日焼けした海の若者新治は、目もとの涼しげな少女初江に出会う。嵐の日、島の廃墟で二人きりになるのだが…。

『春の雪』 分類:913 三島由紀夫/著 新潮社



幼馴染の清頭と聡子。互いに惹かれ合うが、聡子は皇族との婚約を受け入れてしまう。夢と転生をテーマに描いた『豊穡の海』四部作の第一作。

